

大谷翔平選手からのプレゼント届きました

心待ちにしていた大谷選手からのグローブが届きました。

右利き用が大小各1個、左利き用が1個の計3個です。早速昼休みに全校児童にお披露目し、6年生の代表児童にキャッチボールをしてもらいました。

このグローブは体育の授業で全員が順番に使い、その後は希望者に業間休みや昼休みに貸し出します。

グローブと一緒に次のようなメッセージが添えられていました。



ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの個人的なメッセージを学校の生徒さんに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。 大谷 翔平



校区あいさつ運動 1月15日(月)

天栄中学校の生徒があいさつ運動をしてくれました。来てくれたのは本校の卒業生で現在中学3年生と1年生の4人です。昇降口に立って登校してくる児童に「おはようございます」と声をかけてくれました。こどもたちは卒業した先輩に懐かしそうに寄っていき話をしていました。



認知症サポーター養成講座

1月25日(木)に5・6年生が地域の方17人と一緒に認知症サポーター養成講座を受講しました。南部認知症地域支援推進員の方から、認知症とは様々な原因で脳の働きが悪くなったりしたために生活するうえで支障が出ている状態であるが、少しの声掛けでできることもたくさんあることを教えてもらいました。「やっぱりサブちゃんのチャーハンが最高」というアニメを見せてもらい認知症の方への接し方を学びました。また、支援推進員と岩井先生が熱演した2種類の会話を聞き比べ、優しい話し方、聞き方を学びました。



校区特別支援学級交流会

天栄中学校区の特別支援学級交流会をオンラインで行いました。アピールタイムでは各校が工夫を凝らしたアピールを行いました。天名小学校は、学校紹介をした後に天名小クイズを試みみんなに答えてもらいました。こどもたちはカメラに向かって落ち着いてわかりやすい口調で原稿を読むことができ、とても素晴らしい発表でした。



伊勢形紙体験

4年生が鈴鹿市の伝統工芸である伊勢形紙について学び、形紙彫りを体験しました。講師として伊勢形紙協同組合から大平峰子さんに来ていただきました。伊勢形紙についてのビデオを見た後、ランプシェードを作りました。



※「伊勢形紙」と「伊勢型紙」という2種類の漢字の使われ方をしますが、ここでは、伊勢形紙協同組合に合わせて「形紙」という字を使いました。詳しくは伊勢形紙協同組合のホームページをご覧ください。

<https://isekatagami.or.jp/isekatagami/>

第35回読書感想画
三重県コンクール
優良賞
2年 多田 旺祐

